

県議 坪田すすむ 通信 Vol.3

福岡県議会議員(博多区) 民主県政クラブ県議団

福岡県議会議員(博多区選出)の坪田すすむです。2023年12月定例会が12月1日～20日に開催され、一般会計補正予算案などを可決し閉会しました。民主県政クラブ県議団からは、来年度予算編成の基本方針や市町村振興局の取り組みなどについて代表質問しました。私は一般質問でバス・タクシー運転手不足の問題やライドシェアへの県の姿勢、ユニバーサルツーリズム推進などについてたどしました。質疑の一部をご紹介します。

坪田すすむ

2024 新春号
12月定例会報告

バス・タクシー運転手確保へ 二種免許取得費支援を

12月定例会 一般質問

バス・タクシー業界は慢性的に人手不足でした。コロナ禍で離職が進み、街に人の流れが戻った今、改めて大きな影響が出ています。一部地域では公共交通機関の「空白地帯」が現れる中、2024年度からはドライバーの労働時間規制が厳格化されます。また、一般のドライバーが自家用車に客を乗せて運ぶ「ライドシェア」が条件付きで解禁される方向になっています。旅客運送の資格である第二種免許取得を補助する政策を講じる自治体もありますが、福岡県としてはどのように対応するのか、知事に尋ねました。

ライドシェア 懸念材料多く

坪田: 街に賑わいが戻る一方でドライバーは不足しており、生活や観光に影響が出ることが予想される。ライドシェア導入の議論が進むが、運行の安全性や渋滞の増加などの懸念もある。県としてはどのように考え対応するか。

知事: ライドシェアは過疎地など公共交通の空白地域、タクシー供給不足の地域では手段の1つだ。しかし、①二種免許を持たないドライバーが参入することによる技術や知識不足に対する懸念、②事故が起きたときの保険適用や補償の問題、③乗務前後の飲酒運転のチェック、車両のメンテナンスといった運行管理の問題④ドライバーの過重労働による睡眠不足や賃金水準など労務管理 — などの課題がある。慎重に対応する。



免許取得助成 一部自治体で進む

バスやタクシーの運転手になるには、「大型第二種」や「普通第二種」の免許が必要ですが、取得に20～50万円程度かかることがハードルになっています。ドライバー確保に向け、宮崎県や佐賀市など一部自治体では第二種運転免許の取得費用を補助する制度を始めています。

自治体の補助制度の例

宮崎県	普通二種は18万円、大型二種は40万円補助
佐賀市	普通、大型いずれも10万円補助
嘉麻市	免許取得教習料金の1/2を補助



地域の生活や経済を支える交通インフラが人手不足で失われることがあってはなりません。増えた観光客に対してタクシーの供給が追いつかず、いわゆる「白タク」が横行している観光地もあります。福岡県でも第二種運転免許の取得補助など対策を早期に検討すべきと考えます。

ユニバーサルツーリズム推進を

自由に旅行できる日常が戻り、観光客数も増えてきています。年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、誰もが安心して旅行を楽しめる環境づくりを「ユニバーサルツーリズム」と言います。福岡県はこの取り組みの一環として、車いすとベビーカーを福岡空港や博多駅でレンタルし、宿泊施設など県内22か所で返却できる「福岡県どこでも車いす・ベビーカー実証事業」を実施し、民間での事業化も見据えています。福岡県のユニバーサルツーリズム推進について尋ねました。



坪田:「どこでも車いす・ベビーカー」の利用状況と今後の展開は。

知事:11月の利用状況は、車いす52台・ベビーカー68台の合計120台で、約7割が日本人、約3割が外国人。また、12月以降は、車いす・ベビーカー合わせ約90台の予約がある。利用者からは「膝の痛みで長時間の移動は不安だったが、安心して旅行ができた」「旅行先でレンタルでき、飛行機の搭乗手続きの負担が減った」「返却場所が多いのが良い」「予約なしで利用できる」と更に便利だと思ふなどの声があった。貸

出場所の追加希望など利用者アンケートの結果を公表し、旅行会社やレンタル業者に事業化を働きかける。

坪田:先日、車いすユーザーから、「ホテルに宿泊する際、バリアフリーの状況など客室の詳しい情報を事前に得られず、現地に行くまで不安だった」との声を聞いた。こうした中で、ホテルに直接問い合わせバリアフリールームやユニバーサルルームの具体的な情報を独自に発信している個人やNPO法人がいる。県はこれまで、ホテルや旅館のバリアフリー化をどのように支援してきたか。ホームページの内容を充実させるなど、旅行者の視点に立ったバリアフリーの情報発信を啓発する必要があると考える。



知事:県では県内事業者に対し、宿泊施設バリアフリー化支援、観光関連事業者へのユニバーサルツーリズム啓発セミナーの開催、アドバイザーの現地派遣などを行いサポートしている。また、宿泊施設が利用者目線で情報発信を行えるよう優良事例を紹介したり、自社サイトや旅行予約サイトに、客室のドア幅や手すりの位置、段差の有無の掲載を促すなどの助言を行っている。今後も、宿泊施設のバリアフリー化を推進する。

日赤・能登地震復興支援募金のご案内

■被災地全域への寄付

①ゆうちょ銀行・郵便局

口座記号番号 00150-7-325411

口座加入者名 日赤令和6年能登半島地震災害義援金

②銀行振込

三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787501

三菱UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105493

みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0620669

口座名義はいずれも「日本赤十字社(ニホンセキジュウジヤ)」

石川県能登地方の地震で、甚大な被害が発生しました。被災地の皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。日本赤十字社が、生活再建を支援するための復興支援募金を実施しておりますので、ご案内致します。

■地域を限定しての寄付(石川県支部での受付)

北國銀行 県庁支店 普通 28580

口座名義は「日本赤十字社石川県支部 支部長 馳 浩(ハセ ヒロシ)」

※いずれも受付期間は2024年12月27日(金)まで。お振り込み間違いのないよう、必ず銀行名や口座番号等をご確認ください。また、ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります。ゆうちょ銀行は窓口でのお振り込みの場合、振込手数料が免除されます。

Career

87年 正光寺ひかり幼稚園(博多区)

90年 板付小学校入学

94年 塩原小学校入学(筑紫丘Jrラグビークラブ)

96年 福岡市立春吉中学校入学(筑紫丘Jrラグビークラブ)

99年 福岡県立筑紫丘高等学校入学(ラグビー部)

03年 早稲田大学 文学部入学(ラグビー部)

07年 NPO法人福岡すまいの会入職(ホームレスの自立支援)

14年 社会保険労務士資格を取得 博多駅前に事務所を設立

14年 車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」設立

21年 衆議院議員選挙立候補(福岡1区選挙区)

23年 福岡県議会議員選挙 初当選

Mission

議会運営委員会 委員 / 文教委員会 委員

スポーツ立県調査特別委員会 委員

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会 委員

社会保険労務士

車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」顧問

NPO法人福岡すまいの会理事

一般社団法人とて(障がい者のグループホーム)理事

Office

Tel 092-710-4930 Fax 092-710-4931

〒812-0045 福岡市博多区東公園5-18

ヴェルゾン東公園1F(事務所)

SNS リンク



LINE

X

facebook

instagram

youtube

homepage